

# 近江八幡市立武佐小学校

## 活動テーマ

令和5年度  
「わたしがやります！  
学校CO<sub>2</sub>ネットゼロ」  
活動報告書

## 「世界の子どもにワクチンを！」エコキャップ運動

### 取組の概要について

保健委員会では、令和4年度からペットボトルキャップ回収の取組を行ってきた。学校にペットボトルキャップ回収箱を設置し、校内ポスターの掲示や定期的に校内放送を使って、活動への参加をよびかけた。

また、保健委員会が作成したポスターを、地域のコミュニティセンターに掲示して、地域の方々への協力をお願いした。集まったペットボトルキャップの数とそれによる成果(ワクチンの提供量)が分かるよう結果を校内に掲示した。

#### 1 実践の概要

武佐小学校では、各学年でSDGsについて学習をしている。その中で、発展途上国では1日4,000人、時間にして20秒に1人の赤ちゃんや子どもが、ワクチンがないために命を落としていること、プラスチックごみが海に流れると、海が汚くなるだけでなく、海の生き物やそれを食べる人間などにもさまざまな影響を与えていること、そして、地球温暖化を防ぐために、CO<sub>2</sub>の削減が急務であることを学習した。

そこで、これらのことを解決するために、昨年度から、保健委員会でエコキャップ運動の取組を始め、今年度においても引き続き活動している。学校にペットボトルキャップ回収箱を設置し、校内ポスターの掲示や定期的に校内放送を使って、活動への参加を呼びかけた。また、保健委員会が作成したポスターを、地域のコミュニティセンターに掲示して、地域の方々への協力もお願いしている。



#### 2 実践の内容と工夫

##### (1) 取組の呼びかけ

###### ア 全校への呼びかけ

保健委員会では、定期的にお昼の放送で、ペットボトルキャップ回収について呼びかけた。この取組では赤ちゃんや子どもを病気から「いのち」を救うワクチンが購入でき、また環境を守ることにつながることも伝えた。

さらに、各教室にポスターをはり、活動の参加を呼びかけた。



##### イ 地域への呼びかけ

保健委員会が作成したポスターを、武佐コミュニティセンターに掲示して、地域の方々への協力をお願いした。

##### ウ 福祉教育

集まったペットボトルキャップについては、近

隣の福祉施設の共同作業所に寄付し、利用者が粉碎作業をする資材となり利用者の賃金となるよう協力した。この取組が、ハンディキャップのある方々の生活の支援になることも委員会を通じて全校児童にも伝えた。

### (2) 成果の見える化

集まったペットボトルキャップの数とそれによる成果（ワクチンの提供量）が分かるように結果を廊下に掲示した。「成果が見える」工夫をしたことで、保健委員の意欲や学校全体の回収ムードが高まった。

## 3 取組の成果と課題

### (1) 取組の成果

#### ア 児童の主体的な取組

4月は保健委員会の新しいメンバーに昨年度から続くこの取組の意義について説明し、継続して取り組むことがより多くの命を救い社会貢献に繋がることを再認識した。

また、児童のアイデアを具現化したり、成果が見える化したりすることによって、児童が達成感を感じられる取組となった。

また、2年目の活動となり全校児童がこの取組を知るようになり、回収量も増加した。

集まってうれしい」「自分たちも環境のことや人の命を救う取組に参加できていることを実感する」「地域の方が参加してくれて、ほめてもらってうれしかった。」などの言葉が聞かれた。



### (2) 取組の課題

#### ア 取組への意欲を高める

取組の成果が子どもたちに伝わり、社会に貢献していることが実感できるように、常に新しい情報を発信することが必要である。

#### イ 環境への意識を全校に広げる

保健委員会の児童が主体的に取り組むことによって、環境問題に関心をもつきっかけになっているが、情報発信についても積極的に行い、全校児童や地域の方が環境への意識を高めるよう工夫が必要である。



## 4 学校におけるCO<sub>2</sub>ネットゼロ活動の今後の展開

### (1) ペットボトルキャップ回収の継続

今後、ペットボトルキャップ回収は武佐小学校の児童会活動の大切な取組として位置づけ活動していく。

### (2) ペットボトルキャップ回収を活用した環境教育の充実

全校児童の環境問題への関心をもつきっかけとなるように、ペットボトルキャップ回収を導入とした環境に関わる授業を行う。

### (3) コミュニティ・スクールを活用した取組の活性化

コミュニティ・スクールとしての環境への取組につながるよう検討する。

#### イ 地域を巻き込んだ取組

武佐コミュニティセンターにポスターを掲示することで、児童の取組への意欲も上がるとともに、地域における認知度も定着している。今では地域の方も小学校にペットボトルキャップを持ってきてくださっている。

#### ウ 児童の活動を始める前と後の意識の変化

特に、保健委員会の児童は、取組を通して、環境問題に興味をもつきっかけや達成感や充実感につながる取組となった。

また、ペットボトルキャップを回収し集まった数を数える作業をしている児童からは「たくさん

学校名	近江八幡市立武佐小学校
住所	近江八幡市武佐町118
電話番号	0748-37-6025
E-mail	musa-es@omihachiman.ed.jp